

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、27～30℃台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり3kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり635kgの水揚げで、前週の4.4倍（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり90kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.3トンの水揚げで、前週の3.3倍（前年を上回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、メジナなどが1日1統当たり47kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり178kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり127kgの水揚げで、前週の34%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/31～8/4の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、八戸沖で操業。アカイカ漁は北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、山陰沖、能登沖、佐渡沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、2日延3隻、総計603箱、1航海最高287箱、平均201箱。スルメイカ（30～40入）100箱、ケンサキイカ（2～4立）503箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第7-13号 令和7年のトビウオ海況予報」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

次回の週報は、令和7年8月22日（金）の発行になります。